

意見書

1. 2.5GHz 帯の地域 BWA 帯域 (2575～2595MHz) は全国バンドとして割当て、早期に利用可能とするべきである

広帯域移動無線アクセスシステムの地域 BWA 帯域 (2575～2595MHz) は、利用開始から 5 年以上経過するところですが、「広帯域移動無線アクセスシステムに係る臨時の利用状況調査の評価結果」(2013 年 4 月 10 日)によれば、日本の全 1742 市区町村中の 5%である 85 市区町村しか無線局が開設されておらず、地域 BWA 事業者 52 者中約半数の 24 者は有償による役務提供をしていない状況です。また、地域 BWA 事業者が、有償サービスに至らない主な理由として、技術面・採算面などの問題により事業目途が立たないことが挙げられています。

周波数有効利用の観点から、この帯域がほとんど利用されていない状態が継続することは望ましくないため、現在、既に地域 BWA として利用されているエリアを除いてこの帯域は全国バンドとして割当て、早期利用可能とするべきであると考えます。

その際、新たにこの帯域におけるサービスを希望する地域 BWA 事業者に対しては、直接的な免許付与ではなく、ネットワーク展開の実績・技術ノウハウ等を持つ全国バンド事業者が構築するネットワークを MVNO 等の二次利用で対応することが望ましいと考えます。この方式であれば技術面・採算面などの問題も生じず、過去の運用実績を活かした速やかなネットワーク展開が可能であり、周波数有効利用を早期に実現することが出来ると考えます。

この帯域は、国際標準バンド (3GPP・Band41、Band38) に含まれ、中国を始め国際的に移動通信用途で利用が開始されている価値の高い帯域であり、周波数が逼迫している状況の中、我が国でも有効に活用するべきであると考えます。

2. 800MHz 帯 FPU の移行先は 1.2GHz 帯または 2.3GHz 帯ではなく、42CH 以下の UHF 帯ホワイトスペースへ移行するべきである

800MHz 帯 FPU は、1.2GHz 帯または 2.3GHz 帯への移行が予定されていますが、周波数有効利用の観点から、FPU と同じ免許人である地上テレビジョン放送事業者の帯域 (エリア的に空いているホワイトスペース) へ移行するべきであると考えます。

同じ免許人の場合、地上デジタル放送との干渉が起きた場合でも効率的な調整が可能であることが考えられることから、800MHz 帯 FPU の移行先は 1.2GHz 帯または 2.3GHz 帯ではなく、地上テレビジョン放送事業者の帯域である 42CH 以下の UHF 帯ホワイトスペースへ移行するべきであると考えます。

我が国では、最近の総務省の情報通信統計データベースによると、移動通信事業者 6 社の移動通信トラフィック量は年間 1.7 倍の伸び率を示しており、スマートフォンや M2M の普及、大容量データ等によるトラフィック増大が見込まれ、更なる移動通信用周波数の確保等の逼迫対策が必要であると考えます。この逼迫対策のために、既存の放送用周波数の縮小も例外ではなく、将来的に更なる周波数再編が必須であると考えます。これに対応するためにも、1GHz 帯以上の周波数は重要であり、特に 2.3GHz 帯は、アジア（中国、香港、韓国、マレーシア、インド、シンガポール）、オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド）、米国、カナダ等多数の国で BWA 等の移動通信用途に割当てられており国際標準バンド（3GPP・Band40）であることを考慮し、アジアでも我が国が移動通信をリードしていくためにも、我が国は 2.3GHz 帯を BWA 等の移動通信用途とするべきであると考えます。

3. 1.7GHz 帯携帯無線通信システムに対して、追加 10MHz 幅（1744.9～1749.9MHz／1839.9～1844.9MHz）以外にも周波数の開放を検討するべきである

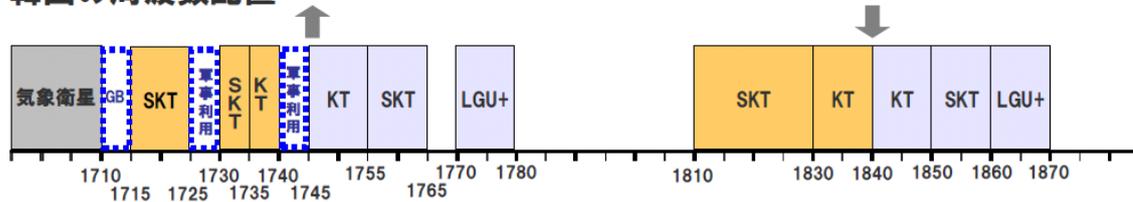
我が国では、最近の総務省の情報通信統計データベースによると、移動通信事業者 6 社の移動通信トラフィック量は年間 1.7 倍の伸び率を示しており、スマートフォンや M2M の普及、大容量データ等によるトラフィック増大が見込まれ、更なる移動通信用周波数の確保等の逼迫対策が必要であると考えます。

1.7GHz 帯で国が使用している周波数（1710～1744.9MHz 及び 1784.9～1839.9MHz）は、国際標準バンド（3GPP・Band3）であることから、この周波数は携帯無線通信システムへ利用拡大するべきであると考えます。

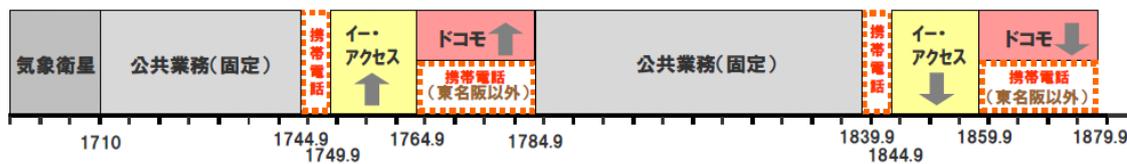
韓国では、昨夏当該 1.7GHz 帯において、国が使用している周波数の一部を携帯無線通信システムへ利用拡大しました。この携帯無線通信システム周波数は、上りと下りが非対称の周波数幅で、インターネットや動画の閲覧等利便性が高い下りの周波数がまとまっている柔軟な周波数配置となっています（別紙 2 ご参照）。これを参考にして、我が国でも国が使用している周波数（1710～1744.9MHz 及び 1784.9～1839.9MHz）を開放し、1.7GHz 帯携帯無線通信システムに対して追加 10MHz 幅（1744.9～1749.9MHz／1839.9～1844.9MHz）以外にも周波数割当てを検討していただくことを要望致します。

以上

韓国の周波数配置



我が国の周波数配置



3GPPの周波数配置 (Band3)

